

科目名 (英文表記)	<p style="text-align: center;"><b>アントレプレナーシップ I</b> (エシカル・アントレプレナーシップ) (Entrepreneurship I )</p>		
科目区分	基本科目	単位数	2 単位
担当教員名	泉 貴嗣	ナンバリング	MBA_B_VM5111
研究室番号	420	研究室電話番号	27-5490
Eメール・アドレス			
<b>授業の内容及び方法：</b> 次頁以降に記載			
<b>授業の目的：</b>			
<p>本科目の目的は現代のビジネスにおいて不可欠な、「社会問題や環境問題の解決に貢献する製品、サービス」を生み出し、社会と企業のサステナビリティ(持続可能性)の両立を実現する、いわゆる「エシカル・ビジネス(倫理的なビジネス)」を創造するアントレプレナー(起業家)、そのような新規事業や既存事業のエシカル化を担うイントレプレナー(社内起業家)に必要な要素を学び、それぞれの立場からエシカル・ビジネスや経営戦略を企画し、実行するための基礎を培うことにあります。</p> <p>なお、本科目では、エシカル・ビジネスの理解と実践に欠かせない、周辺領域の CSR(企業の社会的責任)、ソーシャルビジネス、SDGs(持続可能な開発目標)、ビジネス倫理、コーポレートガバナンスなども取り扱います。</p>			
<b>到達目標：</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1.現代のビジネスにおける倫理とサステナビリティの重要性を理解する</li> <li>2.エシカル・ビジネスに重要な要素を理解する</li> <li>3.エシカル・ビジネスの企画するための基本的なスキルを習得する</li> <li>4.エシカル・ビジネスの実践時に必要なリスクを想定し、その予防策を検討できるようになる</li> </ol>			
<b>使用教材：</b>			
<p>教科書は指定しませんが、下記の参考図書を紹介します</p> <p><b>【書籍】</b></p> <p>『エシカル・アントレプレナーシップ』(編著)横山恵子、(著)杉本貴志、長谷川伸、宮崎慧(中央経済社 2018年)</p> <p>『9割の社会問題はビジネスで解決できる』(著)田口一成著(PHP研究所 2021年)</p> <p><b>【ガイドライン等】</b></p> <p>『中小企業のための人権デュー・ディリジェンス・ガイドライン～持続可能な社会を実現するために』(編著)国際経済連携推進センター(2022年)</p> <p>『責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン』(編著)ビジネスと人権に関する行動計画の実施に係る関係府省庁施策推進・連絡会議(2022年)</p> <p>※その他の参考図書がある場合は、講義内で随時紹介します</p>			
<b>成績評価の方法：</b>			
<p>成績評価は、以下の評価項目に基づいて行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者への貢献度(自己のキャリアから得た知識等の他の受講者への還元等)：10%</li> <li>・事前・事後課題(最終課題を除く)：40%</li> <li>・最終課題(グループワーク)：30%</li> <li>・最終課題グループメンバー間の相互評価：20%</li> </ul> <p>評価に不服のある場合には、不服申立書を以て、教務委員長に申し出てください。</p>			

**履修上の注意事項：**

1. 本科目はみなさんの「価値観」を問うことに主眼がある科目です。
2. ディスカッションでは積極的な自分の考えの表明と、他人の考えに対するレスポンスが重要です。そのため他の受講者の考えを傾聴し、気後れせず、自分を奮い起こして積極的に発言してください。
3. モジュール4でゲスト講義を予定していますが、ゲストの予定によっては、開催モジュールが変更となる場合があります。
4. 講義の進行状況によって講義内容の一部を変更する場合があります。
5. 課題でレポート等を課す場合は枚数の上限を指定しますが、上限枚数ちょうど、またはそれに近いほど高評価となる訳ではありません。あくまでもレポートの内容の良否のみが評価の対象となります。
7. 本科目のモジュール8は講義時間を延長し、16時限(21：40終了)まで実施します。
8. 本科目は原則として対面講義で行います。